2023年8月1日　　－　つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう　－　　第655号（1）

音楽運動

日本音楽協議会　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町３丁目10-15 富士ビル505号室　　発行人　松本敏之
TEL 03-3221-1821　FAX 03-6369-3057　URL http://nichionkyou.org　Email nichion@yomogi.or.jp

2023全国代表者会議を開催

日音協は7月29日、30日、東京都豊島区の南大塚地域文化創造館で（ズームミーティングを併用）日音協２０２３年度全国代表者会議を開催しました。幹事会、傍聴者も含めて14支部23人が出席しました。

松本会長は冒頭、「第54回はたらくものの音楽祭は、新潟県支部はじめ新潟県実行委員会のご尽力と全国の仲間たちの協力で、成功できた。その総括と、来年の音楽祭にむけた準備についても提案するので、議論をお願いしたい」とあいさつしました。

あいさつする松本会長

経過報告に続いて議事では、まず第54回はたらくものの音楽祭の総括について、金田事務局長が、「6月3日２００人、6月4日２００人が参加。ゲスト＝劇団ひとみジーンズ、中央実行委員会企画＝若い会員の交流会、メーデー合唱団、スポットライト＝Wit Caution（新潟）、塚本茂子（長野）のほか、一般出演者は全部で31。感染症拡大によるサークル活動の中断を乗り越えて、平和の歌・生活の歌を中心に素晴らしい作品と演奏ができた。新潟県支部は音楽祭の受け入れを機に、今後の更なる運動の広がりが予感できる。労組オルグの重要性を痛感した。30人規模のオープニング演奏と広報用チラシのデザイン公募が特筆できる。今後の課題としては、出演者数の減、県実参加労組の組合員により積極的に参加を呼びかけること、感染症対策、ステージ関連スタッフ講座の開催が求められている」と提案。

提案する金田事務局長

山本さん（新潟県支部）が新潟県実行委員会の総括を報告。舞台監督の坂口副会長がステージスタッフ有志の意見を紹介しながら課題を提起しました。

これに対して、狭石さん（東京都支部）は「新潟音楽祭はすごく良かった。ポスターや全国交流会もよかった。演奏力も向上している。会場アクセスがわかりづらかった。司会の負担が大きすぎると感じた。練習室の場所がわかりづらかった」。

南條さん（福島県支部）は「司会の負担が大きすぎると感じた。新潟は若い人の顔が多く見られた。スポットライトの塚本茂子さんも良かった。練習会場はわかりづらかった」。

磯野さん（富山県支部）は「合唱はコンデンサーマイクを勧められ、良かった」。

磯野さん（北海道）は「音楽祭終了後すぐにYouTubeに動画が公開されたが、ステージ全体が撮りきれていなくて残念」などの発言を受け、改善すべきは改善していくことを確認しました（5面に関連記事）。（2面につづく）

電波の環境が落ち着かない中で苦労しました

ZOOM参加の皆さん

第54回はたらくものの音楽祭で、日音協各支部に会場で感想を書き込んでいただきました。

すっかり遅くなりましたが、日音協●●県支部の部分を添付ファイルで送ります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（7月29日　メールにて各支部に送信しました）

第55回はたらくものの音楽祭は沖縄で開催!!

（1面からつづく）

次に、第55回はたらくものの音楽祭を2024年に沖縄県で開催すること、時期は9月28日（土）29日（日）を第一候補として準備することが提案されました。

夢を語るとして、磯野さん（北海道支部）からは「Tシャツなど記念に残るものをつくってほしい」。

狭石さん（東京都支部）からは「沖縄の路上で合唱とか、辺野古ゲート前でうたうオプションなど企画してほしい。沖縄らしいゲストを迎えたい」。

古谷さん（自治労音協）からは「沖縄で行動、体験できることがあるといい」。

高橋さん（岩手県支部）からは「音楽祭と連携して各地の労組で沖縄を語る旅などを企画できないか」。

沖縄音楽祭の決意を語る平良さん

山本さん（新潟県支部）からは「日ごろ一緒にやっている仲間に一緒にオープニングを呼びかけた。沖縄はそのような素地があるのではないか」などの発言を受け、平良さん（沖縄県支部）が連合沖縄や共闘している団体との連携など決意と、米軍基地整理・縮小の取り組みや沖縄ヘイトを許さない課題を話して、準備を進めることを決定しました。

RMMの提案をする後藤幹事（右）

当面の取り組みについては、8月27日（日）15時からリモート・ミュージック・ミーティング（RMM）としてローカル線（長野県支部）に出演いただくこと、9月18日に東京都渋谷区で開催されるワタシのミライ～No Nukes & No Fossil（さようなら原発集会）に参加することに加え、各ブロック合宿、日音協ソング2023の選考スケジュールなどを確認しました。

機関紙『音楽運動』について、磯野さん（北海道支部）から「年末に実施した読者アンケートはどのように活かすのか」、古谷さん（自治労音協）からは「年間編集計画を各支部、音協と共有しては」と発言をいただきました。

日音協第60回定期総会は、11月25日（土）13時から開催することにしました。東京都内（対面）とZoomミーティングとの併用（ハイブリッド方式）と想定しています。

会議では各支部の活動も報告し合いました。

（松本敏之）

7月30日、久慈市議会議員選挙の投票日でした。

勇退した豊巻直子さん（元岩手県支部会長）のあとを継ぎ、同じく日音協会員の佐々木貴（ささき たかし）さんが立候補しました。

結果は、定数20のところ、1,095票で見事2位当選でした。

私とすれば、役者というイメージの佐々木さんですが、今後ともよろしくお願いいたします。（佐藤）

4年ぶりに香川県支部総会を開催しました

会場は会長の高田家の離れで、仏壇がある、荷物がある、結構広い日本家屋です。会長の努力で支部の定期練習や合宿ができるようにトイレとシャワーブースも新設し、エレクトリックピアノも搬入されました。

難しい曲を何度も練習して新潟音楽祭に参加できたことや、支部の定期練習が再開できたことを祝って会長発案により打上げをやることになり、それなら総会もしなくちゃと順序が逆ですが総会開催を決定しました。新型コロナの影響や事務局の消極的な態度により延び延びになっていた本当に久しぶりの支部総会、7月15日（土）18：00から善通寺市の高田会長宅でZoom併用（3人）を含む7人で開催しました。実に4年ぶりです。

議事では、コロナの影響で停滞した時期もあったがなんとか音楽祭の発表を続けられたこと、毎月第3土曜日には文字通り音を楽しめるような練習をすること、新しい仲間の獲得を目指すことを確認して総会を終えました。なお、役員は高田会長、細川事務局長はじめ全員留任です。

後は打上げ、残った3人で屋外の焼肉パーティー、ホルモンの甘い脂肪が記憶に残ります。アルコールも回ってきたので床に就き音楽をめぐる四方山話をしながら翌朝の心地よい目覚めを迎えました。

（細川剛）

ZOOMで支部総会に参加

Remote Music Meeting vol.4
ローカル線Live

今回のRMMは、音楽祭で告知された長野県支部のユニット、皆さんご存じの「ローカル線」の登場です。というか前回のライブ配信は思うような画像と音声をお届けすることができなかったので、ネット環境や配信機材を取り揃えて再登板ということになりました。

まだまだインターネットを活用した音楽配信には苦労をしていますが、今回は演奏の画像と音声をYouTubeで、感想交流をZOOMの2元配信でお届けすることで準備をしています。

配信をお楽しみにしていてください。

開催要綱は以下のとおりです。

- 開催日時
  ２０２３年８月２７日（日）　１５時開演
- 開催会場
  長野県労働会館　長野県長野市県町532-3
- YouTube・ZOOMのアドレスの周知について
  アドレスが確定した後にメーリングリストでの配信及び日音協のホームページに掲載します。
- 参加者の集約について
  日音協ホームページのメール送信フォームで行いますので、支部名・所属団体名・お名前・メールアドレスを記載の上、送信してください。
  https://nichionkyou.org/mailform.html
- Liveのタイムスケジュール（予定）
  ・YouTubeへの入室　14:45～
  ・Live開演　15:00～16:00
  （感想交流はZoomで行うので、切り替えのためのインターバルを30分とります）
  ・感想交流　16:30～
  ・終了はおおむね17:30を目途に

※会場の終了時間の関係で、30分繰り上げになるかもしれません。決定次第、日音協のホームページで再度周知いたします。

日音協岩手県支部（の感想）

①　青い空はだれのもの？
女性４人の合唱。強弱のメリハリが効いていて良かった。ところどころ、出だしがそろわず残念。一人一人の声が伸びやかで心地よかったです。美しい声。出だしがわかりづらかった。声がまとまっていてよく出ていた。力強く美しい歌声。女声合唱が良かった　途中が揃わなかったのが気になった。

②　一本の鉛筆
さすが、岩手です。５人は寂しいですがおじょうずです。４人のコーラスがとても良く揃っていた。ソロとハーモニーのアレンジも良かった。日常生活のちょっとした中から訴える、反戦、平和を伝える名曲。かなこさんのソロ（新地さんのオブリガード）すごく良かったです！ハーモニーが新鮮だった。ソロ、素敵、その後のハーモニーもまとまっていて美しく、力強い演奏でした。美空ひばりさんの反戦歌。難しい曲ですが、アレンジもすばらしく胸にせまってきました。一番右のソロの人の歌のうまさにド肝を抜かれた。ソロ、良く声が出ていた。美空ひばりがうたっていましたね。素敵なコーラスでした。

③　その他
反戦でまとめたプログラム、とても良かったです。５人の音が感じられる演奏。みなさん、声がよく出ていて素晴らしい演奏でした。ピアノ伴奏と歌のバランスが良かった。

楽しいあやかりネームも「文化」

八戸アマチュア音楽家群像

2016年6月5日、階上町で開催された「はしかみ臥牛山まつり」に、八戸市のアマチュアバンド【がくや姫】が出演した。1970年代に活躍したフォークグループ、かぐや姫のコピーバンドである。

彼らは名曲『神田川』などを本家さながらに演奏した。それでも聴衆の一部には、「ホンモノのかぐや姫が来るって聞いていたのに…」と不満そうな人もいたとか。当日、司会を務めた藤ケ森高子さんは証言している。

たとえホンモノでなくても、その音楽と雰囲気を楽しめるのがコピーバンドである。八戸で活動するアマチュア音楽愛好家の中からは、自分たちが長年憧れた本家にあやかって、楽しいステージネームを名乗る人たちが続々と現れた。

その名前を聞いただけで、どういう音楽を演奏するのか、即座に分かるのである。これは、もはや「文化」と呼ぶにふさわしい。この機会に書き残しておこうと思う。

人間なんてラララ【吉田（きちだ）拓郎】。人生が二度あれば【井上用水路】。八戸弁あんどれ・カンドレ【ナンダリ・カンダリ】。何度も言うよ【シャケ＆アシカ】。あゝだから今夜だけは【チューリッペ】。逃げなさい隠れなさい【加川ふ良】。陸奥湾でスカボロー・フェア【サーモン＆ガーリック】。君とよくこの店に来たものさ【GORO】。ガッツだぜ【ウルフル２（ツー）】。

まだまだ続く。サザン・オールスターズは【3×3（サンザン）オールスターズ】、【サタン・オールスターズ】も。山崎ハコは【山崎ハコ娘】。長渕剛は【長渕剛二（つよじ）】。ユーミンは【ユーミソ】…。

八戸の浜田省吾は1人にとどまらない。【浜田信吾】【浜田省六】【浜辺省吾】と続々と現れたので、このハマショーたちは合同で「浜省祭り」を開催するに至った。【矢沢Ａ喜一】【矢沢小吉】【八幡米吉】の矢沢３兄弟も忘れてはいけない。

どんなに面白く、楽しいあやかりネームも、周辺では必ず定着し当たり前となっていく。【馬淵川フォークジャンボリー】（これとて「中津川フォークジャンボリー」のパロディー）の楽屋では、スタッフが「用水路さん」と呼びかけても、誰も笑わない。

彼らが音楽に向き合う姿勢は真剣である。【がくや姫】のオリジナル・メンバーだった沼舘啓道さんは、伊勢正三ならぬ【あせ正三】を名乗った。「このギターのEの音は１弦開放ではなく、２弦５フレットを押さえていますよね！」。うれしそうに語った沼舘さんは、惜しくも2012年に亡くなった。共に活動した【南こっせつ】と【山田パンヤ】は決してあなたを忘れない。

皆それぞれに、思い出の曲を持っている。その曲が流れると青春の情景が鮮やかによみがえる。それゆえ、なりきりバンドのコピー演奏を求めるのである。

それでも自作曲に手を染めず、コピー演奏だけをしていると、「君にオリジナリティーはないのか」と批判されることがある。

私は反論したい。一つの手本を長くコピーすると、確かに本家そっくりに演奏できるようにはなるが、どんなに巧みにコピーしたつもりでも100%同じにはできない。

そして、それは自分が一番知っている。悩みに悩んで、ある時に気がつくのだ。最後まで残った、どうしても似せられないところ、これこそが自分の個性なのだと。

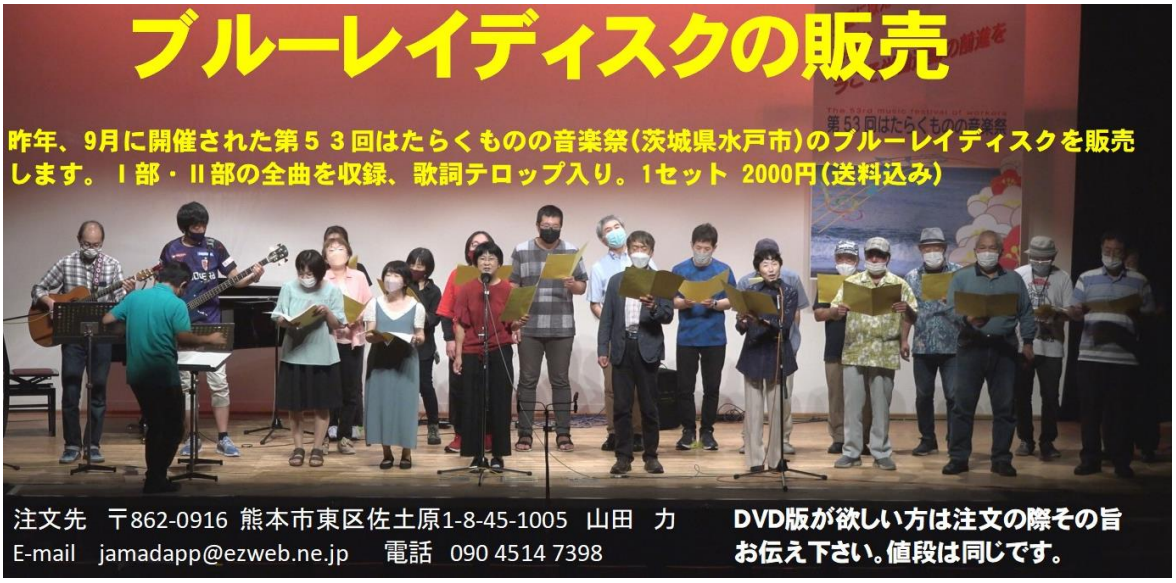
〖デーリー東北〗2023年7月23日

私見　創見

石橋　司（いしばし・つかさ）

1955年、八戸市生まれ。賃貸オフィスビル経営。廿三日（にじゅうさんにち）町商店街新興組合理事長。「まちなかミュージアムワークショップ」代表。「哲学カフェ」主宰。

そういえば、【ブランク長居】を名乗っていた時期もあったなぁ～。（佐藤）



山田さんに伺ったところ、今はＤＶＤとブルーレイディスクでは画質が全然違うとのこと。ブルーレイプレーヤー（再生専用）も一万円くらいで購入できるそうなので、ぜひ山田工房のディスクも注文してください。（編集部）

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話 第9弾

～今だから言える、音楽祭が終わっての裏話～

今年の音楽祭では、特にコンデンサーマイクを使用した演奏団体のボーカルの声が聴こえにくかった、というご指摘を多くいただきましたので、後日その原因について PA チーフの日下さんに伺ってきました。

要因としてはいくつか考えられるが、大きい要因としては、今年のホールの構造をあげておられました。今年のホールは演劇用ということでステージ両サイドに固定の反響板があったため、その反響板からの音の跳ね返りを避けるために、スピーカーをいつもより中央に寄せたことによって、今までにないトラブルが生じ、綱渡りのような PA 操作をしていたとのことでした。ただし、日下さん曰く。「ホールのせいにするつもりはない。どんなホールでも対応できるようにならなきゃ PA とはいえない。精進あるのみです」とのこと。

また、私がこの音楽運動あれこれ話で「リハーサル」を強くお勧めしたこともあってか、今年はリハーサルを受ける団体が、これまでの 1.5 倍以上増えました。それはとっても良いことなのだけど、（とはいえ限られた時間でのリハーサルとあって）通常は９時開場の施設を８時半に開けていただき、リハーサルは９時開始、12 時半終了。たった 30 分のインターバルの後、13 時から 17 時半までの本番が続くという、今までにない過酷なタイムスケジュールを、スタッフ一同がこなすことになってしまいました。

今から思えば、あのタイムスケジュールはまさに人間力の限界だったと思います。スタッフの皆さんは、文句も言わず笑顔で乗り切ってくださいましたが、音楽祭終了後のみなさんの疲労困憊のご様子がスタッフ用 LINE グループのメッセージから伝わってきました。

今年の音楽祭ステージを支えてくれた、PA スタッフ、ステージスタッフ、照明スタッフの皆様に心からお詫びし、そして感謝しながら、来年の音楽祭で、同じ轍を踏まないための施策を、いまから考えてゆきたいと思っています。　（坂口美日）

真剣な眼差し
ステージスタッフ

汚染水を流すな～

海の日アクション「汚染水を流すな・海と命を守るパレード」で日音協アピール

福島　南條善徳

海の日の７月１７日､「原発事故汚染水放出を止めよう海の日アクション」が、いわき市小名浜のアクアマリンパークで開かれた。（市民グループが中心となりさよなら原発１０００万人アクション実行委員会など共催）

三連休最後の３２度越えの猛暑の中、３００人の参加者。会場目の前の海からの涼しい風を期待して参加したが、わずかばかりのそよ風程度、滴り止まらぬ汗で集会もデモ行動も大変でした。

集会では漁業者や避難者、東大教授のゲストや市民トークの後に海と命を守る３０分パレードが行われての解散となった。日音協はデモ出発前の送り出し演奏とデモの最後尾についての音楽でアピール行動（市民グループの演奏者の方々も一緒に）。

リレートークの中で大熊町から会津若松市に避難している女性から「中間貯蔵の搬出先も未解決のままなのに、汚染水を放出しなければさらに大熊町の復興の妨げになる、と説明会で答えた国」への怒りの声が出されました。原発事故で故郷を追われた大熊町の人々を人質に汚染水放出を強行しようとする姿勢があきらかにされていました。

暑い中駆けつけていただいた皆様本当にご苦労様でした。日音協からの参加者は次の通りです。

松本会長と坂口副会長。茨城県支部から市川さんと江崎さん、高橋さん。メーデー合唱団から大塚さんと高野さん。福島県支部からは高山、菅井、南條の３名でした。

演奏したのは、下記の 10 曲です。

- トリチウム毒は毒
- ざけんじゃネェ-汚染水放出
- 水に流すな
- 海を汚すな(原発に未来無し汚染水 Ver)
- これ以上海を
- 汚染水放出ＮＯ
- セシウムの風に吹かれて
- メッセージ(脱原発バージョン)
- あたりまえの地球
- 原発いらない命が大事

歌の力が物語るもの120

茱萸坂うた行動 7／7（480回）報告　Ｒｉｃｏ

【参加者】モリヤさん、スーさん、おーさん、はしゆきさん、えるもくん、イサさん、佐藤さん、達哉、森　計9名

今日の茱萸坂には新しい参加者が来てくれました！お名前は「おーさん」、女性です。金曜日17～18時の経産省前の行動の参加者だそうで、スーさんやモリヤさんたちと一緒に茱萸坂まで来てくださいました。

手元にあった「さようなら原発集会」の時の歌詞カードをお渡しすると、「持っています」と大事に畳まれた歌詞カードを見せてくれた。〈さようなら原発・さようなら戦争〉と表題のある歌詞カード。別の集会の時に配布したものだ。持っていてくれるなんて感激。今日はそこに載っている曲を中心に歌っていくことにした。『メッセージ』『あたりまえの地球』『子どもらの明日のために』『私たちは許さない』『フクシマをくり返すな』『大きな橋』『あなたに届けと』『どこ行く岸田』『風車の唄』『水に流すな』『原子力発電NO！』…。おーさんも気持ちよく歌ってくれているのが見える。

七夕なので、昔、加本さんが作った『たなばた』に、汚染水放出のことと、沖縄の基地の拡大のことの歌詞を足してきた。今日しか歌えない歌。

佐藤さんは新しい楽器を持参。クラリネットだ。金管だけでなく木管リードもこなすとは！なんてすばらしい。佐藤さんの三線は達哉が借りて得意顔で鳴らしている。モリヤさんのギター、はしゆきさんとえるもくんのリコーダー、クラリネット、三線、アコーディオンと、楽団のようだ。

沖縄の歌を歌おう。『月桃』『ジュゴンがすむ海』『ふるさと沖縄』『沖縄今こそ立ち上がろう』『辺野古旅情』…。おーさんは辺野古基地建設反対の行動にもよく参加されているそうで、『月桃』等も暗唱できるらしい。

今日はなんだか通行人が多い。行き過ぎていく人の顔を目で追いながら歌った。知らん顔ばかりだけれど、他人事じゃないんだよ、あなたにも関わることだよと、気持ちを込める。基地は戦争を呼ぶ。54基の原発は地上に置かれた原爆だ。その危うさは今、現実となっているではないか。福島では海洋放出に関して住民説明会が開かれたようだが理解を得るには遠い。それでも進める気だろう、約束は反故にして。この国の政府は、あなたのこともきっと守らない。

最後は『メッセージ』。「いやだ！」と言い続ける方法を、茱萸坂に置き続けよう。

暑くなるけどみんな元気で。また来週！

訃報

フェイスブックで山下悟さんの娘さんの梓さんから悟さんが7月12日(水)の13時36分に亡くなられたという情報がありました。

肺癌のフェーズ4で近ごろは常時酸素吸入をしているという話を本人からは聞いていました。

（アコニスト事務局・岩藤）

水道橋だより

▼「茱萸坂」が読めないのでルビを、という声。「ぐみざか」と読みます。ルビをふるツールもあるでしょうが、狭いスペースに押し込んでいるため、スキル不足です。

▼全電通音楽サークルの先輩、山下悟さんが亡くなった。（親しみを込めて）愛媛のジャマシタと呼ばれた。音楽祭の仕込み作業をしている時、突然あらわれて、「ヤスヒロ、元気か!? 何してる」と一方的に話しかけてくる。見れば分かるだろうに、と思いつつ、何故か憎めない山下さんでした。合掌。

▼音楽祭発表の各支部への感想は全部掲載するスペースがないので、代表？して岩手県支部の分を掲載しました。ご容赦願います。なお、音楽運動の読者アンケートでは「加齢？のため、もっと大きな文字で」という要望があったので、意識して 10.5 ポイントを使っています。▼編集する私自身、文字を拡大しないと視にくくなっています。誤変換には注意してますが、目はショボショボです。

（佐藤）

どん行

（169）

飯島貞親

▼今年も8月15日が近くなってきた。戦争体験が紹介され「二度と起こしてはいけない」と決意が語られる。しかし、ではどういう方法で戦争を回避するかについては一致しているどころか、かなり逆の方向を向いている。日本会議を代表する学者が「過去の戦争に負けたのはなぜか」と質問された際に「日本が弱かったから」と平然と答えていた▼ドイツではナチスに関係した政権関係者は政治運営の場から徹底的に排除されてきた。日本では、岸信介を筆頭に戦犯が戦後政治を牛耳ってきた。この妖怪の孫である安倍元首相をはじめ、保守政治家が戦争への道を突き進む策略を練っている。積極的平和主義などという屁理屈をこねながら▼ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射などを理由に、日本の大軍拡が急激にすすめられている。敵基地攻撃能力や防衛費の急増が予算確保策はそっちのけで、殺傷能力のある武器を輸出することも可能にすべき（自公合意）と報じられている。政治（為政者）の右傾化が顕著になり大問題とされているが、本当に怖いのは国民の意識の変化ではないか。この戦前を思わせる動きに対して、安保法制強行の時のように、12万人が国会を包囲した盛り上がりがないのが不安だ。